

委員会の新構成が決まりました

常任委員会

◆予算決算常任委員会

◎出戸 清克 ○片山 瞬次郎
他20名(全議員)

◆総務企画常任委員会

議世事務局、総合政策部、市民共創部、消防本部、会計課、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、その他の常任委員会の所管に属さない事項を調査します。

◎新田 寛之 ○二木 攻
東 浩一 南藤 陽一
梅田 利和 円地 仁志
橋本 米子 灰田 昌典

◆福祉文教常任委員会

予防先進部、教育委員会の所管に属する事項を調査します。

◎杉林 憲治 ○竹田 良平
木下 裕介 高野 哲郎
片山 瞬次郎 宮西 健吉
表 靖二

◆経済建設常任委員会

にぎわい交流部、産業未来部、都市創造部、上下水道局、農業委員会の所管に属する事項を調査します。

◎宮川 吉男 ○岡山 晃宏
吉田 寛治 吉村 範明
吉本 慎太郎 出戸 清克
川崎 順次

議会運営委員会

◎梅田 利和 ○吉本 慎太郎
円地 仁志 宮西 健吉
表 靖二 杉林 憲治
灰田 昌典

小松基地・空港対策特別委員会

◎灰田 昌典 ○梅田 利和
新田 寛之 吉本 慎太郎
片山 瞬次郎 二木 攻
川崎 順次

その他委員会など

◆倫理推進委員会

◎表 靖二 ○新田 寛之
吉村 範明 梅田 利和
片山 瞬次郎 二木 攻
杉林 憲治

◆議会だより編集委員会

◎東 浩一 ○岡山 晃宏
竹田 良平 吉田 寛治
吉村 範明 吉本 慎太郎

◆意見書等調整会議

座長 梅田 利和 副座長 吉本慎太郎
竹田 良平 岡山 晃宏
南藤 陽一 木下 裕介
新田 寛之 吉村 範明

◆政務活動費運営協議会

会長 南藤 陽一 副会長 吉本慎太郎
竹田 良平 宮西 健吉
橋本 米子

◆国際交流推進議員連盟役員

会長 高野 哲郎 副会長 新田 寛之
理事 竹田 良平 岡山 晃宏
東 浩一 木下 裕介
梅田 利和 吉本慎太郎
円地 仁志
監事 出戸 清克 二木 攻
事務局長 南藤 陽一

◆北陸新幹線建設促進議員連盟役員

会長 高野 哲郎 副会長 宮川 吉男
理事 竹田 良平 岡山 晃宏
東 浩一 吉田 寛治
吉村 範明 梅田 利和
吉本慎太郎
監事 新田 寛之 川崎 順次
事務局長 南藤 陽一

南加賀広域圏事務組合

高野 哲郎 出戸 清克
円地 仁志 宮川 吉男
川崎 順次 杉林 憲治
灰田 昌典

(◎は委員長、○は副委員長)

新副議長に 南藤陽一議員を選出



第56代
小松市議会副議長

《副議長あいさつ》

市民の皆さまには、日頃より市政ならびに市議会活動に温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

この度、令和3年6月定例会におきまして、第56代小松市議会副議長に就任することになりました。身に余る光栄であります。

さて、昨年より続きます、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、地域に与える影響は、極めて深刻な状況が続いており、これまで以上に迅速かつ充実した対策が求められています。市議会といたしましても市民の皆さまに寄り添い、夢と希望に満ち溢れた未来を切り開くために、全力で取り組まなければなりません。

何とぞ、市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

6月 定例会

会期（6月11日～7月7日）
6月11日 開会

市長提出議案

予算案 5件

条例案 8件

その他議案 2件

18日 代表質問（2人）

21日 一般質問（9人）

22日 一般質問（6人）

23日 各常任委員会（分科会）

24日 特別委員会

25日 予算決算常任委員会

30日 総括質疑

7月5日 予算決算常任委員会

締め括り総括質疑

7日 閉会

市長提出追加議案 2件

議員提出議案 2件

※議案等の採決（P23参照）

条例案等をチェック

市長から提案のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。（P20参照）

人事案件

小松市固定資産評価員

まえかわ ひさゆき 氏（佐美町）

の選任に同意しました。

議員提出議案をチェック

議員から提出された議案（意見書）については、可決された意見書を内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。（議決結果はP23参照）

議案第5号 大和堆周辺水域における漁船の安全操業の確保及び外国漁船の違法操業に対する取締りの強化を求める意見書

議案第6号 子ども政策の充実を求める意見書

本会議の討論

委員長報告で修正可決すべきとされた議案第29号に対して宮西議員より反対討論が、吉本議員より賛成討論がありました。

橋本議員より議員提出議案第6号及び小松基地・空港対策特別委員長報告に対し反対討論がありました。

合葬墓・納骨堂整備費



【補正額】 3億9,100万円
 【内 容】 時代と住民ニーズに合わせた墓地整備のため小松市営墓地（向本折町）に合葬墓、隣接する旧松寿園跡地に納骨堂を整備する費用です。

小松屋内水泳プール改修費



【補正額】 2億600万円
 【内 容】 設置から25年が経過し老朽化が進んでいる屋内プールについて、吊り天井撤去、空調改修、照明LED化等により、安心・安全・快適な魅力あるスポーツ施設へと改修を行う。

子育て世帯生活支援特別給付金費



【補正額】 9,830万円
 【内 容】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている所得の低い子育て世帯に給付金を支給します。

プレミアム付商品券発行費



【補正額】 2億6,500万円
 【内 容】 地域経済の元気と活力を創造するため、電子マネーを活用し消費喚起を行う費用です。プレミアム率は前回同様100%です。

サテライトオフィス立地推進費



【補正額】 1,000万円
 【内 容】 IT企業の地方進出、移転等を支援し、定住・移住の促進及び若者や子育て世代の多様な働く場を創出します。

農業担い手育成費



【補正額】 240万円
 【内 容】 新規就農を目指す研修生を支援するとともに次世代を担う農業者を育成し、本市の農業力の向上を図ります。

安全・安心な学校づくり費



【補正額】 7,700万円
 【内 容】 全小・中学校へ直接出向いてヒアリングと現地調査を行い、学校の要望を踏まえた上で教育活動の充実や環境改善を実施する事業です。

栗津駅周辺整備費



【補正額】 2,000万円
 【内 容】 東西連絡通路と駅東西広場を整備しもっと便利な駅を目指します。東西連絡通路の整備に向けた事前の予備設計・土質調査等の費用です。

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P18参照)
 主な提案内容を紹介します。

令和3年度補正予算

一般会計	補正額 30億1,740万円
特別会計	補正額▲1億2,800万円
企業会計	補正額 1億5,800万円

一般会計の累計

489億1,410万円

全会計の累計

1,032億5,110万円

学校給食無償化問題について

◆ 学校給食の完全無償化について、4億9千万円余りの財源が毎年度必要となる。本市の財源は特に公債残高が過大であることから、財源確保は可能か

▲ 全庁的な事務事業の見直しや民間活力の積極的な導入等、財源の確保が必要。早期実現に向け、まずは財源確保に取り組みながら次年度以降の対応について検討していく。

◆ 新型コロナウイルスワクチン接種について、一般接種の見込み(64歳以下)は

▲ 一般接種については、国が示す優先接種の対象となる基礎疾患のある方等には6月25日に、また60〜64歳の方には6月26日に接種券を発送する。県において開設される大規模接種会場である「いしかわ県民ワクチン接種センター」は、まずは19〜22歳の方を対象として7月4日から接種開始されることとなっている。

◆ 宮橋新市長の市政に対する基本姿勢について

▲ 「市民と共に進める次世代都市こまつ」の実現のため、次の3つを重点方針として示したい。①「対話とコミュニケーション」市政を担う行動指針。現場に向き、多くの方の声を聞きながらまちづくりを進める。②「新しいまちづくりへの積極的な挑戦」市政運営に対する覚悟を示す。未来技

術等を積極的に取り入れ、小松の成長と人々の幸せづくりを進めていく。③「好循環をつくり出すまちづくり」まちづくりに対するポリシー。新幹線や空港の立地を生かし、トップセールスを進めていく。新しい小松をつくる55の具体策の実現に向け、市政のかじ取りを担わせていただく。

◆ 未来型図書館の建設については、場所・規模・機能等、課題も多々ある。財源的にハードルは高いと思うが、どう取り組んでいくのか

▲ 今回、未来型図書館調査費100万円を議会に提案した。広く意見、市民ニーズを把握するため、意見募集等を通じて議論を深めていく。また、県内外の公共図書館の整備事例について立地場所や規模、サービス内容等を調査し、今後の構想策定に向けた課題等の検討整理をしていく。

◆ 安宅新地区土地区画整理事業(対象面積32ha)については、事業費50億円で臨空エリアを整備するものである。空港の民営化、第2滑走路の整備は、同土地区画整理事業の成功のため不可欠と考える。

▲ 空港の民営化等については、国交省が空港民営化の可能性を探るため、空港施設の資産調

査を実施している。この結果を基に県では、小松空港中期ビジョン策定委員会等で協議することとしている。国県等と一致協力して空港の発展に取り組んでいきたい。

◆ 栗津駅関連で、2千万円の予算が付されている。その趣旨、及び今後の展開は

▲ 本年度は東西連絡通路等の整備に向け予備設計等に着手する。来年度以降、駅西広場の整備、駅東広場の改修等の整備を進めていく。

◆ F-35Aの小松基地配備について、わが国の防衛上、配備は不可避であると考え。また、告示後住宅の防音工事は長年の懸案事項となっているが、今後の見込みは

▲ 防衛省は高い能力を有するF-35Aを速やかに整備し、国の防衛の万全を期す考えである。告示後住宅について近畿中部防衛局に確認したところ、本省と調整していくとの前向きな回答を得た。



大きく変貌する小松空港

